

3. 市民との取組み

①図書館に関わる市民との取組み

図書館は、特に児童サービス、障害者サービス、多文化サービスの面において、市民とともに様々な事業に取り組んでいる。

図書館は、資料・情報サービスの側面では資料・情報と人をつなぎ、地域や市民との連携事業の側面では、人と人をつなぐ出会いの「プラットフォーム」の役割を果たすことを目指している。

各館で行う事業においては、市民が各自の事情に合わせて参加できる環境があり、継続可能な取組みとなっているものも多く、今後も様々な分野での地域や市民との連携・協働事業を推進していく。

〈市民との取組み事業一覧〉

館名	行事名	団体名	開催数
岡 町	図書室おはなし会	おはなしポケット	17
	えほんはじめまして (中部保健センター)	豊中子ども文庫連絡会	18
	とよなか地域子ども教室	SA とよなか	11
	子どもと本のつどい	豊中子ども文庫連絡会	2
	おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	26
	子どもと本のまつり	豊中子ども文庫連絡会、おはなしポケット、 (特活)国際交流の会とよなかTIFA	1
	子どもと本をつなぐ地域交流会 中部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	1
	あおぞらおはなし会	おはなしポケット	1
	北摂アーカイブス写真展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	1
	庄 内	えほんはじめまして (庄内保健センター)	豊中子ども文庫連絡会
紙芝居 すきやねんやってみたい子生まれ!		学生ボランティア	1
リサイクル本販売コーナー ・ 陶器とりかえ隊		しょうないREK・赤ちゃんからのESD	43
しょうないおやこでにほんご		しょうないREK (地球ママくらぶ)	40
チャレンジ! 囲碁教室、チャレンジ! 将棋教室		しょうないREK、地域市民	35
庄内南公民館文化祭 (古本市、おはなし会)		しょうないREK、おはなしポケット他	2
庄内祭り (古本市、おはなし会、おばけ屋敷、昔あそび工作、子育て情報コーナー)		しょうないREK他	5
震災から学んだ地域力		しょうないREK他	1
秋のおはなしランドスペシャル (ストーリーテリング他)		しょうないREK、おはなしポケット	1
庄内公民館まつり (古本市)		しょうないREK他	1
しょうないREK5周年記念イベント「みんなに“ありがとう”大同窓会」		しょうないREK	1
とよなか市民環境展 (古本市)		しょうないREK他	1
しょうないREK5周年記念イベント「しょうないREKの歩みから協働事業を考える」		しょうないREK他	1

館名	行事名	団体名	開催数
庄内幸町	おはなしポケット	おはなしポケット	12
千里	えほんはじめまして (千里保健センター)	豊中子ども文庫連絡会	18
	おはなしワールド	千里ストーリーテリングの会	2
	コラボまつり(千里文化センターフェスティバル)	千里文化センター市民運営会議、豊中子ども文庫連絡会、千里青雲高校、TIFA、ふれあいネットワーク、豊中紙芝居の会、高校生・大学生ボランティア	1
	千里コラボ市民運営会議	千里文化センター、国際交流協会、市民	5
	千里コラボ大学校	千里文化センター市民実行委員会	5
	大人のための絵本カフェ	千里文化センター市民実行委員会	7
	千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからのESD	10
	子どもと本をつなぐ地域交流会 東部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	1
	北摂アーカイブス写真展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	1
野畑	おはなし大会	野畑おはなしの会 ミックスJAM	1
	おはなしプレゼント	野畑おはなしの会	24
	とよなか地域子ども教室 (てづくりあそび、たこあげ大会、のばたけ囲碁くらぶ ほか)	地域ボランティア 野畑えほんの会	25
	春の朗読会	朗読グループ「草の実会」	1
東豊中	おはなしたんけんたい、おはなしたんけんたいクリスマス会	お話探検隊	43
	むかしあそび「つくってあそぼう」	ふれあいネットワーク	1
	大人のための朗読サロン	朗読グループ「草の実会」	3
	東豊中図書館落語会「ニノ切寄席」	噺の会じゅげむ	1
服部	おはなしポケット(1才~3才・4才以上・小学生)	おはなしポケット	51
	はっとり寄席	市民	1
	モノづくり教室	SA とよなか	1
高川	おはなしくらぶ(0~1歳半まで・4歳~・高川小放課後子どもクラブ)	おはなしポケット	82
	紙芝居ボランティア(紙芝居会・練習会)	おはなしポケット	12
	とよなか地域子ども教室	SA とよなか	14
蛭池	おりがみ教室	市民	18
	人権・平和月間事業(であい・ふれあい大賞作品展、表彰式)	子育てふれあいの会	2
	おはなしもこもこ	おはなしポケット	47
	小学生おもしろ工作教室	NPOきすな	1

②図書館とともに様々な事業に取り組んできた市民団体のあゆみ

昭和 35 年(1960 年)	12 月	「動く図書館利用者の会」発足（昭和 53 年 4 月「図書館利用者の会」に改称）（→庄内図書館開館）
昭和 38 年(1963 年)	2 月	「とよ読書会」発足
昭和 41 年(1966 年)	8 月	「豊中読書会」発足
昭和 46 年(1971 年)	2 月	「子どもの本を読む会」発足（同年 5 月「豊中子ども文庫連絡会」に改称）
昭和 47 年(1972 年)	6 月	「千里（豊中地区）に図書館をつくる会」発足（→千里図書館開館）
昭和 50 年(1975 年)		「そよ風文庫をそだてる会」発足
昭和 51 年(1976 年)		「豊中子ども文庫連絡会」が「子どもと本のつどい」を開催（昭和 61 年から図書館との共催事業）
昭和 55 年(1980 年)	4 月	「豊中子ども文庫連絡会」が社会教育関係団体となる
昭和 56 年(1981 年)	7 月	「子どもと本のまつり」を「豊中子ども文庫連絡会」と共催
昭和 61 年(1986 年)	2 月	「身近にとしょかんがほしい会」発足（→野畑図書館開館）
平成 元年(1989 年)	11 月	「どうしても図書館が欲しい会」発足（→東豊中図書館開館）
平成 3 年(1991 年)	10 月	対面朗読グループ「ヴォイス」結成
平成 4 年(1992 年)	6 月	「暮らしの中に生きる図書館を望む会」発足（→服部図書館開館）
		「学校図書館を考え専任司書配置を願う市民の会」発足
平成 5 年(1993 年)	10 月	音訳ボランティア「グループ・エコー」結成
平成 6 年(1994 年)	1 月	おはなしボランティアグループ結成（後に「おはなしボランティアポケット」と命名）
平成 13 年(2001 年)	5 月	「豊中子ども文庫連絡会」結成 30 周年を迎える
平成 16 年(2004 年)	5 月	「豊中図書館の未来を考える会」発足
	8 月	「地球ママくらぶ」が「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」を協働提案
		「豊中図書館の未来を考える会」が「千里のまちにふさわしい図書館構想をつくる一人と情報、人と人を繋ぐ図書館一」を協働提案
平成 17 年(2005 年)	7 月	「しょうないモデル事業実行委員会（しょうない REK）」立ち上げ（平成 19 年 10 月「しょうない REK」に改称）
	9 月	「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」設置
平成 18 年(2006 年)	9 月	市政施行 70 周年記念「とよ読書会」500 回記念講演会開催
平成 19 年(2007 年)	12 月	「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」提言提出
平成 20 年(2008 年)	5 月	住民参加によるウィキ型地域情報データベース構築に関する調査研究開始
平成 21 年(2009 年)	9 月	「豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業実行委員会」立ち上げ
平成 22 年(2010 年)	6 月	「豊中・箕面地域情報アーカイブ化事業実行委員会」を「地域情報アーカイブ化事業実行委員会」と改称

③図書館関係団体（豊中子ども文庫連絡会・ボランティアグループ・読書会等）

団体一覧

<p>子どもの読書支援</p> <hr/> <p>子ども文庫（*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫）</p> <p>*おひさま岡町文庫</p> <p>*おひさま文庫 くれよん文庫</p> <p>*Kei おばさんの本の部屋文庫 月よう文庫</p> <p>*サークル文庫</p> <p>*そよ風文庫</p> <p>*つみ木文庫</p> <p>*仲よし文庫</p> <p>*にじいろ文庫 プーさん文庫</p> <p>*豊松園文庫</p> <p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ お話探検隊</p>	<p>読書会</p> <hr/> <p>つぐみ読書会 ともしび とよ読書会 豊中読書会 原田読書サークル ふうせんかずら フェアリーおばさんの会 むらくさ読書会 木曜読書会</p>
<p>障害者・高齢者読書支援</p> <hr/> <p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー ヴォイス</p>	<p>朗読グループ</p> <hr/> <p>草の実会</p>
<p>多文化読書支援</p> <hr/> <p>おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご</p>	<p>その他</p> <hr/> <p>豊中市立図書館利用者の会 豊中図書館の未来を考える会 学校図書館を考える市民の会 しょうないモデル事業 実行委員会 (しょうないREK) 地域情報アーカイブ化事業 実行委員会</p>

関係団体の取組み

<豊中子ども文庫連絡会>

豊中子ども文庫連絡会（豊子連）は昭和46年の発足以来、「すべての子どもたちに読書のよろこびを」という願いのもと地域に根ざした活動を続けている。平成22年7月現在、豊子連に所属する子ども文庫は9文庫、個人会員は2名である。

各文庫の世話人が出席して行われる毎月の例会に図書館職員も出席して情報を共有し、子どもと本に関わる様々な取組みをともに行っている。こうした取組みの主なものとしては、4か月児健診会場で実施されている「えほんはじめまして」への協力や「子どもと本のつどい」と「子どもと本のまつり」の共催がある。また、豊子連独自の取組みとして「豊子連講座」（図書館が後援）を行っている。

平成22年度の「豊子連講座」は、井上桂子さんによる講演会「フィンランドの子どもたちや人々の学びを支え育むもの～一年間の滞在生活を通して」、絵本作家・小西英子さんの講演会「おいしい絵本の作り方」、夙川学院短期大学准教授・湯浅俊彦さんによる講演会「電子書籍でなにが変わる？～これからの子どもの読書を考える」が開催された。

「子どもと本のつどい」では、今年度は歌人・穂村弘さんの講演会「短歌の楽しみ」とワークショップ「そうや、短歌を詠もう」が、また、大阪自然史博物館で骨格標本を作成する「なにわホネホネ団」西澤真樹子さんの講演会「『ホネホネたんけんたい』ができるまで」と、ワークショップ「ホネのレプリカをつくろう」が開催された。また、夏休みには「子どもと本のまつり」としておはなし会や手づくり遊びを行った。

4か月児健診会場で「えほんはじめまして」では図書館職員とともに乳児の保護者に絵本をはさんで、心地よい時間を持つ楽しさや大切さを伝えている。

<おはなしボランティアポケット>（通称：おはなしポケット）

平成5年に始まった図書館主催の「おはなしボランティア養成講座」修了生によって結成され、約80人のメンバーが所属している。小学校の放課後子どもクラブや、市内の図書館・図書室・市立豊中病院の小児病棟等を活動場所として、地域で子どもと本をつなぐ活動を続けている。月1回、運営委員と世話人が中心となって例会が行われ、情報交換や研修の機会となっている。

また、図書館で毎年開催する「子ども本をつなぐボランティア講座」や「高校生・大学生のための読み聞かせボランティア講座」（図書館、教育委員会地域教育振興課共催）にも講師として協力を得ている。ここ数年は中学校からの依頼で授業での読み聞かせや、読み聞かせボランティア体験の指導も行っている。

平成22年度は放課後子どもクラブでの読み聞かせの活動について、担当課である子育て支援課放課後こども係の担当者と運営委員、図書館職員とで意見交換を行う機会を持った。

<おはなしボランティア>

豊中紙芝居の会」「千里ストーリーテリングの会」「野畑おはなしの会」「おはなしたまたまばこ」「お話探検隊」などのグループによる、おはなしボランティアの活動がある。

図書館のおはなし会での読み聞かせのほか、学校や病院等でのおはなし会の実施にあたって協力を得ている。

図書館では、これらのグループに資料の団体貸出を行うほか、おはなしボランティアをはじめとする子ども読書活動にかかわるボランティア活動を支援・活性化するために、研修講座を開催している。

すでに活動を始めているボランティアに向けて行う講座「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」では、今年度、臨床心理士の津田仁美さんと元おさなご保育園園長・徳永満理さんをお招きし、乳幼児を中心とした子どもたちの育ちや読み聞かせについて研修した。

このほか、岡町図書館では読み聞かせの活動を始める方、読み聞かせを始めたばかりの方を対象に年1回「子どもと本をつなぐボランティア講座」（全6回）を実施、市内各館では学校での読み聞かせボランティア向けの初級講座を随時行っている。

また、図書館と教育委員会地域教育振興課が共催する「高校生・大学生のための読み聞かせボランティア講座」の受講者は、その後も「地域子どもカーニバル」や図書館でのおはなし会に参加しており、地域のボランティア活動を行うきっかけになっている。

庄内図書館や高川図書館では、高校生や大学生が紙芝居ボランティアとして読み聞かせの活動に参加している。

〈音訳・点訳・対面朗読ボランティア〉

録音図書、点字図書の作成や対面朗読サービスにおいて、ボランティアグループ（「大阪声のグループ」「豊中点訳会」「音訳ボランティアグループエコー」「対面朗読ボランティアヴォイス」）から協力を得ている。図書館では、音訳ボランティアフォローアップ研修講座の開催や、音訳・点訳図書の選定作業、集会室の提供・情報の提供など、その活動を支援している。

対面朗読件数 149回

音訳ボランティアフォローアップ研修講座 2回 参加人数 16人

音訳ボランティア例会 11回（毎回職員が事務連絡のため出席する）

点字図書作成 34タイトル

録音図書作成 56タイトル（うちデジタイズ図書 30タイトル）

〈朗読グループ「草の実会」〉

東豊中図書館開館直後の平成6年より、東豊中図書館で年4回朗読会「名作を楽しむ一大人のための朗読サロン」を開催し、地域の催しとして広く市民に親しまれている。平成22年度には、野畑図書館で開催した文字・活字文化振興事業「春の朗読会」にも協力いただいた。

④しょうないREK

～正式事業名：リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業～

平成16年度協働事業提案制度に基づき、協働事業として「リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業」が提案された。

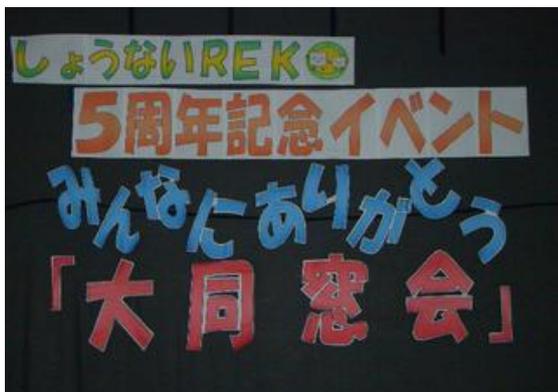
平成17年度は、これらの具体化にむけ、市の各課・関係機関、提案団体が「地域環境共生活性化会議」を立ち上げ、「庄内検討懇話会」（のちの「しょうないモデル事業 実行委員会」）で協働事業実施の前提となる目的や地域での課題、事業方針などが重点的に議論された。あげられた地域課題としては「子どもの安全な居場所づくり」「在住外国人との共生」「地域の活性化」「環境にやさしい街づくり」などであった。また、事業全体の枠組みとしては、「イベント」「常設事業」「情報発信」の三つを軸に実施していくことが確認され、主に庄内地域で活動する関係団体に参加を呼びかけた。

具体的には、『庄内まつり』への参加をはじめとして、『庄内公民館まつり』『市民環境展』に参加、また『多文化フェスティバル』を主催した。情報発信として「（情報誌・瓦版）ええやん！しょうない」を発行、Web上でもホームページを開設した。あわせてリサイクル本については庄内図書館3階にリサイクル本販売コーナーをオープンし、売上金については、公益活動事業に投入し、地域への還元を行うこととした。

翌年度以降、事業のさらなる充実と拡がりを目指して『庄内南公民分館まつり』への参加やリサイクル本コーナーをコミュニティスペースとして活用するべく「REKカフェ」を開催し、「買いに来る場所」から「くつろげる場所」へと交流の場を広げ、カフェでは「フラワーアレンジメント」などの事業を実施した。

これまでの活動を通じ、地域において「しょうないREK」の取組みが次第に根付きつつある。活動が5年を経過したこともあり、平成22年度は11月に「みんなに“ありがとう” 大同窓会」、2月にパネルディスカッション（座談会）形式で「しょうないREKの歩みから協働事業を考える」を開き、これまでの活動の検証と課題などについて意見交換を行った。

※R＝リサイクル E＝イベント K＝（情報）瓦版



〈取組み内容〉

・しょうないREK実行委員会（庄内文化センター） 9 回

・イベント主催

事業名		実施回数・実施日	参加人数
図書館リサイクル本の販売（毎週火曜日）		38回	2,312人
多言語情報コーナー・外国語資料展示/貸出（協働事業コーナー）		図書館開館日 （10時～17時）	—
震災から学んだ地域力	震災パネル展と講演他	8/21	25人
しょうないREK みんなに “ありがとう” 大同窓会	▽5年間のしょうないREKの活動を記録したDVD上映や 交流会など	11/14	93人
しょうないREKの歩みから 協働事業を考える	▽パネルディスカッション（座談会）形式で、これまでの 活動の検証と課題などについて市民と行政が意見交換を 行った。しょうないREK5周年記念イベントおよび平成 22年度豊中市管理職員研修として開催	2/10	36人
チャレンジ！将棋教室	▽毎週日曜日の午前中に開催（将棋教室/第1・3日曜、囲 碁教室/第2・4日曜）市内の小学生・中学生とその保護者 が対象 囲碁教室は12月で終了	20回	121人
チャレンジ！囲碁教室		15回	157人

・イベント共催

しょうないおやこでにほんご	▽外国人親子のための日本語学習サークル	40回	613人
陶器とりかえ隊	▽家庭で不要になった食器(陶磁器)の回収・提供	5回	145人
秋のおはなしランドスペシャル		11/13	35人

・イベント参加

事業名	実施日	参加人数	
庄内南公民館文化祭	▽古本市 ▽おはなし会	8/1	77人
庄内祭り	▽昔あそび工作教室 ▽古本市 ▽おはなし会 ▽おばけやしき ▽REKブース・子育て情報コーナー	8/18	593人
庄内公民館まつり	▽古本市	11/13	53人
とよなか市民環境展	▽古本市	12/11	150人

・情報誌「ええやん！しょうない」（瓦版）発行

発行日・号数	内容
平成22年10月27日 14号	▼地域のみなさまへ「ありがとう！」5周年感謝記念イベント のお知らせ▼ええでえ！服部ピオパーク（その1）/柿本修一 ▼日常生活密着型地図「ええやん！しょうないMAP～近くで 散歩、ピクニック！編～」▼ええやん！しょうないリレーエッ セイ/新開悦子 ▼「おやこでにほんご」のブログが出来まし た！▼図書館員アフリカへ行く（その2） ▼平成21年度会計 報告・平成22年度予算 ほか

⑤千里文化センター（コラボ）市民運営会議

平成 20 年 2 月、千里文化センター「コラボ」の開館を機に、同年 7 月に設置された。学識経験者、公募市民、各施設長（市職員）で構成されている。図書館・公民館・老人福祉センター・保健センター・市役所出張所・多目的スペース・屋上庭園で構成される多機能施設の機能を組み合わせ、千里地区における「生涯学習」「文化創造」「行政サービス」の拠点として、また、「市民公益活動の促進」の場として、事業のあり方や実施・評価手法などの検討を行っている。

なお、その前身には、豊中市教育委員会が市民参画を求めて設置した「豊中市新千里図書館・公民館創造会議」があり、コラボの開館準備段階（平成 17 年 9 月～平成 19 年 11 月）において、管理運営のあり方等について提言がまとめられた。

平成 22 年度は、前年 11 月に結成された「千里文化センターコラボひろば及び屋上庭園事業実行委員会」が実施した事業について評価を行うとともに、施設間連携事業のあり方等について検討した。

また、「コラボカフェ」が 4 月 6 日にオープンし、カフェを利用した交流事業やミーティングも定期的に行われている。その一つである「千里コラボ大学校」や「大人のための絵本カフェ」に図書館から司書が出向いて、テーマに沿った本の紹介や絵本の読み聞かせなどを行い、市民との協働事業の新たな取り組みとなっている。

〈コラボまつり〉

